

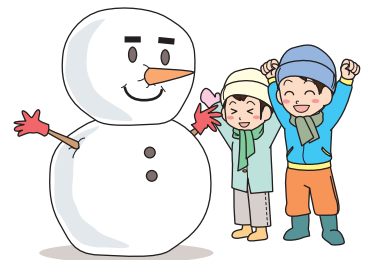
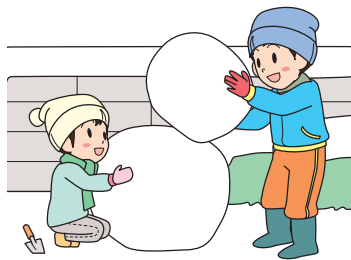
しつ問：どんな問題が出されますか？

答え：「考える力・決める力・伝える力」をみるために、文章を書く問題が出されます。ふだんの生活に近い場面の問題が多いので、そこで考えたことを、自分の言葉で説明してみましょう。

しつ問：考える力・決める力・伝える力って何ですか？

答え：考える力は、「問題に書かれていることがわかる力」、決める力は「問題のとき方・答え方を決める力」、伝える力は「ほかの人にわかりやすく伝える力」です。

■ ななみさんは つぎの 3まいの 絵を かきました。つぎに その 絵について お話を 書きました。 にあてはまる 絵に合った 文を 一つ 書きましょう。



たろうさんが 朝 おきると、外に 雪が つもって いました。  
たろうさんは 妹の はなこさんをおこして、  
「雪が つもって いるよ。外で あそぼう。」と 言いました。

.....

大きな 雪だるまが できたので、ふたりは うれしく なって  
おおわらいました。

かいとうらん

▶ かいとうが書けたら、うらめんのかいとうれいとかいせつを見てみよう！

## かいとうれい

れい

ふたりは、雪だるまを つくる ことに しました。

## かいせつ

ななみさんが作った3つの絵とお話を見て、絵に合った内容の文を作りましょう。3つの絵のうち、どの部分の絵に合った内容の話を書くのかを考えます。

3つの絵とななみさんのお話を照合すると、真ん中の絵の男の子（たろうさん）と女の子（妹のはなこさん）が雪だるまを作っている最中さいちゅうの話が抜けていることがわかるので、二人が雪だるまを作っている様子を文にして書くと良いでしょう。

二人がどのような様子でつくっているか（「いっしょうけんめい作りました」など）、雪だるまができていく過程（「雪だるまはどんどん大きくなりました」など）の表現が書かれていると、奥行きのあるお話となります。日頃からさまざまな物語に接することで、豊かな表現力を身につけることができるでしょう。

「明日の学力」診断では、問題文に書かれていることを手がかりにして、答えを考え、ほかの人にもわかるようにひょうげんする力をみています。

正解は一つでも、考え方やそれを伝える方法はいくつもあります。正解にたどりつけないときでも、自分の考えの表現をめざしてください。